

各会計別の決算（歳出）

会 計		平成25年度	平成24年度	増減額	増減率
一般会計		129億9,200万円	119億5,639万円	10億3,561万円	8.7%
特別会計	国民健康保険	49億 150万円	46億 1,921万円	2億8,229万円	6.1%
	後期高齢者医療事業	2億1,724万円	1億9,137万円	2,587万円	13.5%
	下水道事業	7億1,329万円	7億1,362万円	△ 33万円	0.0%
	土地区画整理事業	13億3,915万円	11億6,150万円	1億7,765万円	15.3%
	農業集落排水事業	3,579万円	3,989万円	△410万円	△10.3%
合 計		201億9,897万円	186億8,198万円	15億1,699万円	8.1%

下水道事業

- ・人口普及率＝57.3%
(町民半数以上が利用可能)
- ・整備済地域の接続率は91.2%で5.3%増

後期高齢者医療保険

平成20年度から始まり、被保険者(75歳以上)は年々増えている。

平成20年 1,972人
平成25年 2,505人

国民健康保険

給付費の増により歳出（支出）が増えており、平成20年度以降赤字決算となっている。

土地区画整理事業

事業進捗率は総事業費ベースで65%

- ・面整備率 50%
- ・建物補償率 86%

※津嘉山北地区の区画整理に利用される会計

特別会計

平成25年度決算の特徴



農業集落排水事業

一括交付金により神里地区汚水処理施設に太陽光パネルが設置された。太陽光パネルの効果は…

- ・消費電力：20.0%削減
- ・電気料：11.6%削減

保育園保育料及び主食費と学校給食収入において、徴収や収入未済などについて適宜対応すること。

〔収入未済への対策は〕

加入者1人あたりの医療費が前年度より1万7千円増加している。医療費の抑制は喫緊の課題であり、抜本的解決が急がれる。

〔国健康保険医療費の抑制対策を〕

財政は総じて健全に運営された。しかし、一般会計及び特別会計を総括した実施収支額が赤字決算をもって翌年度に引き継いだことは、財政収支の均衡保持等に配慮が足りなかった結果である。また、依然として依存財源の比率が高く、厳しい財政運営となっている。

監査委員の指摘

代表監査委員 稲福 清
議会選出監査委員 玉城 勇

審査期間 7月7日～
意見書提出 8月5日
8月29日



監査委員は町長に決算審査意見を提出しました